



校長通信

丸ノ内中学校
松本市宮淵3-6-1
TEL 32-1962
校長 宮坂 俊之
(HP限定)

夏休み終了 32日間の夏休みも終わり、2学期が始まりました。オリンピック開催の可否や、コロナ対策など様々な意見や評価がありましたが、オリンピックが夏休み前半の大きなイベントだったことには間違いありません。皆さんも、少なからず関心を持ったのではないかと想像します。一方夏休み後半は新型コロナの感染拡大と豪雨という災害に注目せざるを得ませんでした。松本市でも多くの小中学生が陽性になり、また高校でもクラスターが発生しています。2学期が始まったからこそ、改めて感染対策を丁寧に行い、学びの継続を進めていきたいと考えています。ご家庭でも、ご協力をお願いいたします。

- ・感染に不安があって登校したくない、させたくないという場合には、欠席扱いではなく、出席停止として扱います。
- ・ご家族に発熱している方がいる場合などは、欠席させてください。出席停止としての扱いになります。
- ・お子さんが発熱等で早退する場合、体調に問題なくても兄弟含めての早退をしていただきます。

職員研修会 夏休みの一週目は、先生方にとっては一学期のまとめをしたり、2学期に向けて研修をしたりする週となりました。研修としては、26日(月)に防犯訓練。警察署の方を招いて不審者対応の訓練を行いました。28日(水)は、ICT研修。タブレット端末を授業でさらに有効に活用できるためのスキルアップに取り組みました。30日(金)は、特別支援研修です。特別な支援が必要な生徒への支援の工夫の仕方などを松本養護学校の先生からいろいろとアドバイスいただきました。エアコンが入ったお陰で、研修も集中でき、ありがたいです。



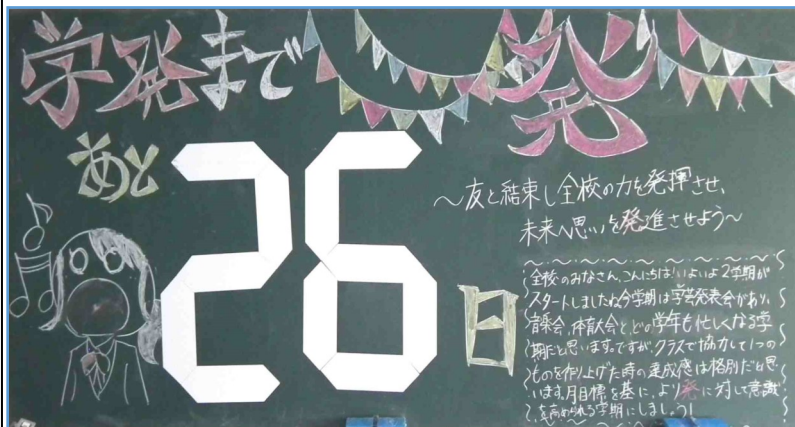
二学期始業式の挨拶（校長）

夏休みが終わりました。32日間の休みでした。～ 中略 ～ さて、夏休み中には、オリンピックがありました。大きなイベントだったので、テレビで見た皆さんは多いと思います。最初にその話をしておきたいと思います。今回、柔道を始めとして日本は多くのメダルを獲得しました。その柔道では、阿部兄弟が同じ日に金メダルとりました。スケートボードなど新種目で活躍する選手もいましたし、13年ぶりの金メダルとなったソフトボールなどもありました。それぞれに感動する姿があり、自分の力を発揮したすばらしさがありました。

一方、期待されながら十分に結果を出せず敗れた選手もいました。長野県出身でバドミントンの奥原希望選手などもその一人かもしれません。また、昨年校長講話でも取り上げてきた池江選手は白血病から復活してリレーに出場しました。様々なドラマがあり、マスコミでもいろんな選手の活躍が紹介がされている中で、気になったこと・残念なことがありました。「差別」についてです。テニス代表の大阪なおみ選手やバスケットボールの八村塁選手は、既に日本のスポーツ界の中でも中心的な選手です。2人とも日本の代表として活躍してくれましたが、大阪選手が3回戦で敗れると、様々な誹謗中傷が主にSNS上であったそうです。人種差別につながるものもあったようです。八村選手や弟さんも人種差別を受けた過去(といっても、それほど昔ではありませんが)があるという話も聞きました。見た目で肌の色が違うということで、偏見をもつ人も少なからずいるということだと感じました。とても残念なことです。また、フェンシング代表の長野県出身の西藤俊哉選手も、団体戦準決勝で不調だったことからチームが負けた原因とされ、SNSで随分非難されたと聞いています。

SNSでの発言は、簡単なので多くの人が使いますが、無責任な発言はいじめと同じです。SNSの恐ろしさを感じたオリンピックでもありました。～ 後略 ～

オリンピックへの世の中の反応を、負の視点から伝えてみました。



恒例の生徒連絡黑板

8月の夏休み明けは、学芸発表会までのカウントダウンとなりました。一日ごとに数字が減っていくわけですが、コロナの感染拡大に伴い、今年も来賓をお呼びするのは見送りとなります。保護者の皆様の参観等にも制限をかけるようになることが予想されます。申しわけありませんが、ご協力よろしく願いいたします。